

<金標準、「山高ければ、谷深し」に注意・・・>



(出所：オアシス)

ガザ地区の病院施設敷地内にミサイルが被弾し、100名～400名の犠牲者が発生した事から、中東各国や欧米諸国も非難を高め、イスラエルやパレスチナ以外の国々まで巻き込むリスクが高まりを見せ、一時NY金は8月1日以来の2000ドルを付けるなど急速な戻りを見せており、週末には金標準先物も9610円まで高値を試すなど、ハマスのイスラエル攻撃で始まった金価格の上昇は949円を記録している。

ただイスラエル軍のガザ地区に対する地上戦開始に伴う地政学的なリスクの高まりも、米国がカタールを介して人質解放の交渉を水面下で実施しており、週末には米国籍の母親と娘が解放されている。また21日にはエジプトの首都カイロでエジプト大統領、サウジアラビア皇太子、トルコ大統領、ヨルダン国王に英国やフランスの外務相、ドイツや中国の代表者が参加する中東首脳会議が開催されるなど、地政学的なリスクが後退する内容であり、大幅に買われた金価格の調整には注意が必要な時間帯に思える。

<テクニカル>

金標準先物の日足のMACDやRCIでは、MACDはMACDとシグナルが上昇し、ヒストグラムの乖離が77%を超えるなど買われ過ぎの域を示している。RCIでも短期が+100横ばいし、長期は上昇を示すなど行き過ぎた反動に伴う急落に注意が必要と思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,210,000 円(2023 年 10 月 23 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 81,840 円(2023 年 10 月 23 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>